

〈発行所〉
全国港湾労働組合連合会
〒144-0052 東京都大田区蒲田5-10-2
日港福会館1F
電話：03-3733-2561
FAX：03-3733-2627
発行人：玉田雅也
定価：30円（組合費を含む）

（毎月1回15日発行・平成7年8月18日）
第三種郵便物認可
2021年1月15日 第334号

全国港湾

NATIONAL FEDERATION OF DOCKWORKERS UNIONS OF JAPAN
(ZENKOKU-KOWAN)



E-Mail: nfduj@zenkoku-kowan.jp

新年賀謹



新年あけましておめでとうござい
ます。旧年中は全国港湾の運動にご理解
とご協力を頂き大変ありがとうございました。

昨年は世界的な新型コロナウイルスの
蔓延により経済活動が制限され多くの
人々の生活が大きく変わりました。十
二月の執筆時点で世界の累計感染者数
は六千五百八十七万三千人そして死者
数は百五十二万三千五百八十三人に及
んでおり、現在も世界各地で感染者数
が拡大しています。日本でも冬の到来
とともに三回目の流行の兆しが見えて
います。

このような状況下でも政府から国民
生活に不可欠な産業として事業の継続
を要請され、全国の港湾で働く組合員
は感染の不安を抱えながらも昼夜を問
わず普段通りの作業を実施していま
す。そして今年も年末年始例外荷役の
確認に基づき十二月三十一日から一月
四日（一月一日は除く）までの間の荷
役が実施されました。体調管理に努め
ての安全作業大変ご苦勞様でした。

二〇春闘は先程から述べているコロ
ナ禍の影響により二月に要求提出し、
第一回交渉から「三密回避」という事
で労使ともに少数の代表者で交渉を行
いました。この間に予定されていた中
央行動も規模を縮小し、デモ行進も中
止となりました。四月七日には「緊急



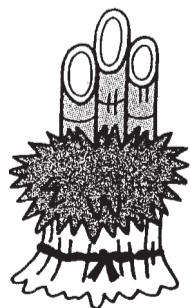
年頭の挨拶

中央執行委員長

柏木公廣

事態宣言」が発せられその結果、交渉
日程が定まらず第二回の交渉がやっと
六月十九日に開催されることになりま
した。この間には日港協の総会で労務
委員長が交代し新労務委員長の決断に
より六月中旬に二〇春闘仮協定書と感染
症に関する仮確認書を取り交わし妥結
となりました。

かねてより、港湾の自動化・機械化
に係るWGで協議中だったRTGの遠
隔操作の課題が将来的な雇用保障が確
認され労使合意しました。協定された
二〇春闘協定協議課題はそれぞれの専
門委員会やワーキンググループ等で協
定実施に向けての協議に入ります。ま
た、懸案の統一回答の問題は現在、都
労委で審議中であり二一春闘開始まで
には結論が出る可能性は低いと思われ
ます。何れにしても、このコロナ禍の
推移如何で二一春闘の行動予定が左右
されますが春闘要求は雇用とくらしを
守る要求にしていきたいと思えます。
組合員の団結を強化して二一春闘を
共に闘いましょう。組合員とご家族の
健康を祈念すると共に本年もよろしく
お願い申し上げます。



シャモ樽

今年の三月
十一日で東日
本大震災から
一〇年になる
▼これまで巨
大津波と福島
第一原発事故

で甚大な被害を受けた人々
が、復興のために懸命な努
力を続けてきた。しかし、
政府は事故を起こした福島
第一原発から発生し続ける
放射能汚染水を海洋放出し
ようとしている。これが強
行されたら復興の妨げにな
ることは確実だ▼福島第一
原発では高濃度のトリチウ
ムを含む汚染水がたまり続
け、現在、百二十万トン
以上がタンクに保管されて
いる。このままでは二〇二
二年秋ごろに満杯になると
され、政府は薄めて海に流
す案を検討。漁業者や地元
の反対で十月決定の予定は
延期されたが、早期決定の
方針は変えていない。トリ
チウム自体は自然界にも存
在するし、原発保有国は原
発から出たトリチウムを薄
めて大気中や海に排出して
いるから大丈夫という理屈
だ。また、汚染水を薄める
ための施設建設などに二年
くらいかかるため、タイム
リミットが迫っているとも
主張している▼タンクを増
設するなどの提案もある
が、政府は海洋放出に固執
している。方針通りに海洋
放出するとすれば、新たな
風評被害が農林水産業に大
きな影響を与えかねない。
政府には、被災地に寄り添
った誠意ある姿勢を示して
らいたい。